

「世界史」の授業で、世界一周旅行の体験談を聞きました

『世界史A』の授業で、北海道教育大学4年生の小野田涉さんを講師にお招きして、「世界一周の旅」をした体験談を語っていただきました。

小野田さんは昨年、大学を1年間休学して、一人で世界42カ国を旅されたそうです。

世界各地での数々の面白いエピソードとともに、「知っていることと分かることは違う」、「自分で知ろうとしなければ本当の姿は分からない」、「経験に勝る知識はない」など、実際に体験したからこそ言える深い言葉に、みんな真剣に耳を傾けていました。



オーロラの写真とともに…。
みんな、あこがれの景色でした。



さまざまな異文化に触れた1時間…。
貴重な「格言」もいただきました。

生徒の感想

今回のお話を聞いて、最初は僕も小野田さんと同じようにアフリカに対する先入観がありました。でも、現地の写真や体験を聞いていく中で、驚きがたくさんありアフリカに対するイメージはかなり変わっていきました。

僕も、世界のいろいろな所に行ってみたいと思っているのですが、今日の時間を過ごして、よりその気持ちが強くなりました。

きれいな景色、おいしそう・まずそうな食べ物、考えられない常識や文化…。大学に入ったらお金を貯めて、「一歩」を踏み出したいと思います。

「何よりも相手をリスペクトすることが大切」という、小野田さんの言葉にはとても共感できたので、僕もその言葉を心に留めてチャレンジしたいと思います。